

※記入の際、字数が多くなる場合は、適宜枠を広げて使用してください。

おおた健康経営事業所 認定基準チェックシート (R8.4月更新)

記入例

※（ご確認ください。）

- 1) 審査は本シートの記載に基づいて実施します。本シートから、取組内容が分からない項目は、審査の対象外となります。（取組内容の詳細について、個別のヒアリングを行う場合があります。）
- 2) 個人情報（個人名や個人の健康診断の詳細等）は記載しないでください。
- 3) 本制度は申請者による自己申告に基づいて判断するものであり、この適否の判断根拠となった取組が実際に行われていることの説明責任は申請者が負う事となります。

0 共通項目（□欄に✓を記入）

1 申し込み希望ランク（必須） □ブロンズ ☒ シルバー □ゴールド
2 国の認定制度など、他の顕彰制度の受賞歴がある（任意） ☒ はい（下記より選択または記載、複数回答可） □ いいえ （現在申込予定の顕彰制度がある場合は以下へご記入ください） <u>健康優良企業「銀の認定」</u>
☒ ① おおた健康経営認定事業所【大田区】 （令和6年度 シルバーランク） □ ② 健康経営優良法人（ホワイト/ブライト）【経済産業省】 （ 年度） □ ③ 健康優良企業「金の認定」【各健康保険組合等】 （ 年度） □ ④ 健康優良企業「銀の認定」【各健康保険組合等】 （ 年度） □ ⑤ その他（ ） （ 年度）

申込中の顕彰制度も
ご記入ください。

I 労働関連法の遵守等（□欄に✓を記入）

I 1 おおた健康経営事業所認定事業実施要綱第5条の規定により申請するにあたり、下記の事実適合することを誓約します。 ☒ はい（以下すべて選択必須）
☒ ① 労働基準法、労働安全衛生法等の関係法令を遵守し、申請日から過去3年以内に労働安全衛生関連の重大悪質な法違反がないこと。
☒ ② 区内に事業の拠点があり、都税等の滞納がないこと。
☒ ③ 暴力団等の反社会的勢力に所属せず、これらのものとの関係を有していな

いこと。
☒ ④この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、認定が取消されること、その旨が公表されること、取消等により当方が不利益を被ることとなっても異議は一切申し立てないこと。

提出書類(3)「健康経営企業宣言書」など健康経営に関する宣言が確認できる書類を表しています。

II 健康経営に関する宣言 (□欄に✓を記入)

II 1 企業理念や経営方針等に、従業員の健康保持・増進に明文化している (添付必須)
☒ はい (下記より明文化しているものを選択し資料添付)
☒ ①事業所の健康経営宣言・企業理念・経営方針等で明文化している
☐ ②親会社やグループ会社の健康経営宣言・企業理念・経営方針等で明文化している
☐ ③全国健康保険協会(協会けんぽ)東京支部等が行う健康企業宣言等で明文化している
☐ ④安全衛生に関する計画や就業規則等、社内文書で明文化している
☐ ⑤その他 ()

明文化している資料が複数ある場合、すべてにチェックいただき1つ以上ご提出ください。

III 経営者の意思の具現化 (□に✓を記入)

III 1 経営者の健康経営に対する意思が具体的に取組として行われている (必須)
☒ はい (下記より選択し内容を記載、複数回答可)
☒ ①各種費用を補助している (人間ドックオプション費用、予防接種など) (人間ドックのオプション費用を補助。 インフルエンザ予防接種を補助。)
☒ ②民間の健康管理サービスを利用している (アプリや専門職の相談など) (健康アプリにて健康情報の閲覧や歩数の確認ができる。)
☒ ③福利厚生制度に加入している (保養施設や娯楽施設の利用補助など) (保養施設やレジャー施設を割引価格で利用可。 (従業員とその家族も利用可))
☒ ④健康づくりの取組への参加を促している (スポーツ大会など) (社内レクリエーション大会(バドミントンやバレー等)を毎年2回開催。)
☒ ⑤健康づくりに関する従業員向けのセミナーや勉強会を実施している セミナー名/勉強会のテーマ記入 (大田区の出張健康講座「お酒と上手な付き合い方」を実施。 (実施日:2025年7月))

☒ ⑥外部が実施する健康づくりに関する研修やセミナーに参加している 研修やセミナー名/外部の主催者 (○○主催「ワークライフバランスセミナー」に参加。 大田区主催「おおた健康経営セミナー」に参加。)
☒ ⑦社内のコミュニケーションを推進している（朝会や懇談会など） (社内旅行（年1回）、懇談会（4月と12月）を実施。 チャット等コミュニケーションツールを使用した情報共有。)
☒ ⑧従業員の健康増進に向けた職場環境を整備している（休憩場所や健康測定機器を設置など） (休憩室に「血圧計」「体重計」を設置。 社内にヨガマットを整備。)
☐ ⑨その他

Ⅲ 2 健康経営の推進に関し、事業所で特に力を入れていることを記入してください（必須）

【例：運動機会の創出として階段利用を促すポスターを掲示、毎日朝礼で健康管理について取り上げ健康に対する意識改革、体調が悪そうな人には積極的に声掛けをするコミュニケーション強化など】

Ⅲ 1 ①～⑨の取組含め、
 特に力を入れている健康経営の取組をご記入ください。
 Ⅲ 1 で記載していない内容も、記載いただいても構いません。

（例）

- ・就業時間内での健康診断受診（再検査含む）を認め、健康診断の受診率、再検査の受診率は 100%です。
- ・禁煙デーの設定や禁煙をテーマとした社内イベントを実施し喫煙率の低下に向け取り組んでいます。

ブロンズ希望はここまで

次の回答

- ・ブロンズランクをお申し込みの際は 12 ページⅧにお進みください
- ・シルバーまたはゴールドランクをお申し込みの際はⅣにお進みください

Ⅳ 健康経営推進体制（□に✓を記入）

Ⅳ 1 従業員の健康の保持・増進を行う担当者がある（従業員 10 人以上必須）

☒ はい（主なものを 1つ 選択または記載）

☐ いいえ

☐ ①経営者

☒ ②係長・グループリーダー

☐ ③その他（ ）		
IV 2 健康経営を進めるため、組織としての位置づけがある (従業員 50 人以上必須) ☒ はい（下記より選択、複数回答可） （ ☒ 会議体の設置規則あり ☐ 議事録の作成あり） ☐ いいえ		
☐ ①安全衛生委員会等（50 人未満の事業所では類似の会議体）で従業員の健康について取り上げている		
☒ ②その他社内会議の中で従業員の健康について取り上げている		
☐ ③その他（ ）		
IV 3 従業員の日常の健康状態の把握について、管理監督者等が行っている ☒ はい（下記より選択または記載、複数回答可） ☐ いいえ		
・ 把握の機会	・ 把握の頻度 （例：毎日、週／月〇回 など）	・ 把握の時期 （例：通年、〇月頃な ど）
☐ ①従業員への声掛け		
☒ ②面談	年 2 回	4 月、12 月
☐ ③管理者による記録簿等 作成		
☐ ④その他 （ ）		
IV 4 健康診断の結果、異常所見のある労働者について、産業医(50 人未満の事業所の場合は地域産業保健センターの登録産業医)の意見を聴取している ☒ はい（下記記載） ☐ いいえ		
・ 直近で実施した時期（ 2025 年 12 月）		
・ 意見聴取の内容 労働時間の短縮や配慮が必要な既病歴について産業医から意見徴収した。		
IV 5 協会けんぽや加入している健康保険組合等と連携している ☒ はい（下記より選択または記載。複数回答可） ☐ いいえ		
☒ ①事業所の健診結果を提供している		
☐ ②サービス（生活習慣改善指導など）を利用している サービス名（ ）		
☒ ③40 歳以上で特定保健指導の対象となった従業員が指導を受けている		
☒ ④就業時間中の特定保健指導受診を認める等、特定保健指導の実施率向上		

に協力している
☐ ⑤その他（ ）
IV 6 従業員の健康づくりを進めるため、外部の専門家等を活用している ☒ はい（下記に専門家・活用内容を記載。） ☐ いいえ
外部の専門家（協会けんぽの保健師、産業医、東京商工会議所の健康経営アドバイザーなど） 産業医、精神科専門医
活用内容 産業医：健診結果からの意見徴収 精神科専門医：メンタルヘルス相談
IV 7 従業員に対して健康に関する情報の提供を定期的に行っている ☒ はい（下記に提供方法・内容を記載。複数回答可） ☐ いいえ
提供方法（ポスター、朝礼、社内メールなど） ポスター、社内講習会の実施
情報提供の内容 階段推奨ポスター、ストレッチ方法ポスターの掲示。 腰痛、睡眠、禁煙をテーマとした講習会を実施。
IV 8 従業員に対して病気（がん・メンタルヘルス等）の治療と仕事の両立支援のための取組を行っている ☒ はい（下記より選択し支援内容を記載。複数回答可） ☐ いいえ
☒ ①体調や通院等の事情に応じた柔軟な勤務が可能となる取組を行っている（短時間勤務・時間単位休暇・フレックス勤務等） 取組内容 時間単位休暇、在宅勤務制度を設けている。
☒ ②健康状態に応じ、就業上必要な配慮を検討する体制や仕組みがある（両立支援プランや職場復帰支援プランの作成、業務内容や職場の変更、残業時間の制限等） 仕組みの内容 シフトの固定化や残業制限、勤務地や業務内容を調整。
☒ ③産業医をはじめとした産業保健スタッフや従業員の治療先である医療機関との連携体制がある
☒ ④人事労務担当者・上司・同僚等の社内関係者の理解・協力を得るための取組を行っている（社内研修・講演会等） 取組内容 管理職向けメンタルヘルス研修を毎年1回行っている。
☐ ⑤常時、治療と仕事の両立支援のための情報を提供している（相談窓口等）
☐ ⑥その他
IV 9 女性特有の健康課題への対応や、女性の健康保持増進に関する取組を

行っていますか ☒ はい（下記より選択し取組内容を記載。複数回答可） ☐ いいえ	
☐ ①婦人科健診・子宮がん検診・乳がん検診への金銭補助や、就業時間内の受診又は休暇付与を行っている 取組内容 []	
☒ ②月経周期に伴う心身の変化、更年期症状や更年期障害に対する支援を行っている（休暇の付与・支援ツールやアプリの提供等） 支援内容 [生理休暇の付与]	
☐ ③骨密度測定等を通して骨密度低下（骨粗しょう症）予防の支援を行っている（骨密度測定・サプリ提供等） 支援内容 []	
☒ ④その他 更年期障害など女性の健康に関するセミナーを実施。	

V 健康課題の把握と取組（□に✓を記入）

V 1 年1回の定期健康診断（雇い入れ時健康診断・人間ドックを含む）の受診率を事業所として把握している（実施義務のない従業員を除く）（必須） ☒ はい（受診率：100 %）	
V 2 40歳以上の従業員の特定健診受診率を事業所として把握している ☒ はい（受診率：100 %） ☐ いいえ	
V 3 健康診断の結果、要指導及び要医療になった従業員の割合を事業所として把握している ☒ はい（要指導：20 % 要医療：10 %） ☐ いいえ	要経過観察や要精密検査などの振り分けは事業所で判断していただいて構いません。
V 4 ストレスチェック結果から従業員のストレス状況を事業所として把握している ☐ はい ☒ いいえ（ ☒ 今後把握予定：予定時期 2026年8月頃） ☐ 実施していない	
V 5 健診結果による従業員の健康状況のほか、生活習慣、勤務状況等について事業所として把握している ☒ はい（把握方法： ☒ 健診結果 ☐ アンケート調査 ☐ 日頃のコミュニケーション） （把握事項：下記より選択または記載。複数回答可） ☐ いいえ	
☒ ①健診結果のデータ	
☐ ②メンタルの不調	

④ 禁煙	☒ 禁煙デーを設定 内容（曜日等）[毎月第3月曜日を禁煙デーとして設定。]
	☒ 産業医、産業保健師、けんぽ協会等への相談利用促進
	☐ 喫煙の害について従業員に周知 周知方法や内容 []
	☐ 禁煙をテーマにした社内イベントの実施
	☒ 受動喫煙防止対策の取組 内容 [敷地内の喫煙所をすべて撤去。]
⑤ 健診・ がん検診	☒ 勤務時間内健診の受診促進（従業員の休暇や職免制度、検診車の社内また近隣への手配等）
	☐ 健診後の医師や保健師などによる保健指導の実施
	☐ がん検診の受診促進（従業員の休暇や職免制度等）
	☐ 健診・がん検診に関する情報提供、研修、講座を実施
	☒ 未受診者や要指導・要医療になった従業員への受診勧奨
	☐ 社内で実施したストレスチェックを活用（集計結果の周知、高ストレスの従業員への面談等）
	☐ 長時間残業者に対する医師による面接指導の実施
⑥ 歯・ 口腔	☐ 歯科検診の受診勧奨
	☒ 職場内で歯磨きがしやすい環境づくり（場所や時間の確保等）
	☐ 歯や口腔に関する情報提供、研修、講座を実施
⑦ その他	☐ その他（ ）

シルバー希望はここまで

次の回答

- ・シルバーランクをお申し込みの際は 11 ページⅧにお進みください
- ・ゴールドランクをお申し込みの際はⅥにお進みください

Ⅵ 取組結果（□に✓を記入）

Ⅵ 1 取組の内容（健診結果を含む）について振り返りを行っている（必須）

☒ はい（以下すべてを記入）

・①振り返りの機会

☒ 安全衛生委員会 ☐ 既存の会議体 ☐ 振り返りの場を独自に設定

☐ その他（ ）

・②振り返りの頻度 年1回

・③振り返りの参加者

☒ ⑩健診で要指導、要受診の判定を受け、その後指導や診察を受けた従業員 (目標値 50%) 2024 年 10 月 35% → 2025 年 10 月 35%
☐ ⑪健診で正常の判定 (有所見が 1 項目もない状態) を受けた従業員 年 月 % → 年 月 %
☒ ⑫その他 (女性特有の検診受診率) 2024 年 10 月 0% → 2025 年 10 月 70%
VI 4 振り返りの結果 (上記 VI 1 ~ VI 3) から、今後の目標・取組を策定し、 組織として合意形成している (必須) (例)・社内アンケートを基に屋内の喫煙所の廃止をした。その結果、受動喫煙がなくなり、更に喫煙者の喫煙回数減少につながった。 ・毎朝の体操やウォーキングイベントを開催する等、日常生活に運動を取り入れることを推奨している。その結果、健康意識を持つ従業員が増え運動習慣がある従業員が増加した。
2024 年度の女性特有健康診断受診状況が 0%であった。女性特有の健康問題について、女性自身が知識を得る機会となる情報発信がなかったことが理由と思われる。 【目標】半期に 1 度以上の情報発信を行う。 【取組】乳がんについて、更年期障害についてセミナーを実施した。健康診断の案内の際に、補助があることを周知した。 【結果】2025 年度の健康診断は女性特有健診への申込人数が 70%に達した。

VII 快適な職場づくりの形成 (□に✓を記入)

VII 1 ゼロ災害を目指し、職場の環境安全 (5 S 活動や K Y (危険予知) など) に取り組んでいる (必須) ☒ はい 活動内容 (職場巡視、ヒヤリ・ハット事例のポスター掲示し周知)
VII 2 職場での暴言や暴力、パワハラ・セクハラ等について対応する仕組みがある (必須) ☒ はい 仕組みの内容 (24 時間相談窓口を設置)
VII 3 管理職等、上司が部下の相談に応じ、適切な助言を行う体制がある (必須) ☒ はい 体制の内容 (年 2 回 (4 月と 12 月) に管理職面談を実施)
VII 4 喫煙率 (加熱式たばこも含む) の目標値の設定と推移を把握している (必須) ☒ はい 喫煙率 (目標値 20%) 2024 年 10 月 35% → 2025 年 10 月 30%

Ⅶ 5 受動喫煙防止に取り組んでいる（必須）

☒ はい

取組内容（敷地内の喫煙所をすべて撤去）

Ⅶ 6 喫煙率低下に向けて取り組んでいる（必須）

☒ ①禁煙デーを設定

内容（曜日等）[毎月第3月曜日を禁煙デーとして設定]

☒ ②産業医、産業保健師、けんぽ協会等への相談利用促進

☐ ③喫煙の害について従業員に周知

周知方法と内容 []

☐ ④禁煙をテーマにした社内イベントの実施

☒ ⑤建物内禁煙（屋内に喫煙所を設置しない）

☐ ⑥敷地内禁煙（屋内に喫煙所を設けず屋外でも禁煙とする）

☐ ⑦その他（ ）

※ゴールドをお申込みの事業所は上記を参考に推進下さい。

「確認事項」は全ての申し込みランクにおいて回答・記入をお願いします。

確認事項

上記内容を確認しました

記入日 2026 年 7 月 1 日

（従業員 50 人以上の事業所の場合）

産業医

氏名

大田 太郎

（従業員 10 人以上 50 人未満の事業所の場合）

（安全）衛生推進者

氏名

（従業員 10 人未満の事業所の場合）

事業所代表者

氏名

※「健康経営®」は特定非営利活動法人 健康経営研究会の登録商標です。

※ 従業員 50 人未満の事業所は大田地域産業保健センターへの登録をお勧めします。